

## 研修日程表 (通信平日 12月コース)

定員 20名

日付	時間	時間数	科目・ 項目 番号	項目名	講師氏名
12月1日(水)	9:00 - 9:30	0.5		開校式・オリエンテーション	事務局
	9:30 - 12:30	3.0	1-1	介護サービスの仕事とは	
	13:30 - 16:30	3.0	1-2	介護の資格とキャリアシステム	
12月3日(金)	9:00 - 10:30	1.5	3-1	介護職の役割、専門性と多職種との連携	
			3-2	介護従事者の倫理	
	10:30 - 12:00	1.5	3-3	介護における安全の確保とリスクマネジメント	
			3-4	介護職の安全衛生	
12月4日(土)	9:00 - 12:00	3.0	9-3	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
	13:00 - 14:30	1.5	6-1	老化に伴うところとからだの変化と日常	
	14:30 - 16:00	1.5	6-2	高齢者と健康	
12月6日(月)	9:00 - 10:30	1.5	2-1	人権と尊厳を支える介護	
			2-2	自立に向けた介護	
			4-1	介護保険制度	
	10:30 - 12:00	1.5	4-2	介護と医療の連携	
			4-3	障害者総合支援法と障害者自立支援制度、個人の権利を守るその他の制度	
			5-1	介護におけるコミュニケーション	
12月8日(水)	9:00 - 11:00	2.0	7-1	認知症を取り巻く状況	
			7-2	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	
	11:00 - 13:00	2.0	7-3	認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	
12月10日(金)	9:00 - 16:00	6.0	9-2	介護に関するところのしくみの基礎的理解	
			9-5	快適な居住環境整備と介護	
			9-4	生活と家事	
12月11日(土)	9:00 - 16:00	6.0	9-4	生活と家事	
12月13日(月)	9:00 - 16:00	6.0	9-4	生活と家事	
12月14日(火)	9:00 - 13:00	4.0	9-12	死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	
12月15日(水)	9:00 - 16:00	6.0	9-7	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
12月16日(木)	9:00 - 16:00	6.0	9-6	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
12月17日(金)	9:00 - 16:00	6.0	9-8	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
12月18日(土)	9:00 - 16:00	6.0	9-9	入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
12月20日(月)	9:00 - 16:00	6.0	9-10	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
12月21日(火)	9:00 - 15:00	5.0	9-11	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
12月24日(金)	9:00 - 16:00	6.0	9-13	専門性を活かした介護過程の展開	
12月27日(月)	9:00 - 16:00	6.0	9-14	総合生活支援技術演習	
12月28日(火)	9:00 - 10:00	1.0	10-2	振り返り3 (就業の備えと研修修了後における継続的な研修)	事務局 事務局
	10:00 - 13:00	3.0	10-1	振り返り1・2	
	14:00 - 15:00	1.0		修了試験	
	15:00 - 16:00	1.0		修了式	

※講師選定要件(別紙2)等を確認した上で講師を配置すること。

## 添削指導に関する添削指導日程

添削課題配布日 12月1日

答案提出日 又は期限	添削返送日	通信形式で実施 する時間	科目 番号	科目名	添削講師氏名
12月16日(木)	12月18日(土)	7.5	2	介護における尊厳の保持・自立支援	
12月16日(木)	12月18日(土)	3	3	介護の基本	
12月16日(木)	12月18日(土)	7.5	4	介護・福祉サービスの理解と医療の連携	
12月16日(木)	12月18日(土)	3	5	介護におけるコミュニケーション技術	
12月16日(木)	12月18日(土)	3	6	老化の理解	
12月16日(木)	12月18日(土)	2	7	認知症の理解	
12月16日(木)	12月18日(土)	1.5	8	障害の理解	
12月13日(月)	12月15日(水)	3	9	ところとからだのしくみと生活支援	

※通信形式で実施する時間欄は、別紙6の通信形式で実施できる上限時間内の時間数で設定すること。

※「10. 振り返り」までにすべての添削課題を修了すること。

また、再評価が必要な場合も想定し、余裕を持った添削スケジュールとすること。